

資料編

1. 海外における取組事例

①オランダ アムステルダム

- ・アムステルダム市では、アクセシビリティの向上、生活の質の向上、交通安全、自動車から自転車・公共交通への転換を交通政策全体の目標として設定され、公共交通等の各政策と同等に自転車政策が位置づけられている。
- ・市中心部における歩行者・自転車優先のまちづくりを支えるため、公共交通整備と P&R、物流規制等を進めるとともに自転車政策が推進されている。



自転車サイン



自転車ライトの点検キャンペーン



交通教育（自転車の試験）

出典：アムステルダム市資料



相互通行の自転車道



レンタサイクル店



LOCKER（地下式の大型駐輪施設）

■自転車走行空間の整備概要

・オランダの首都アムステルダムにおいては、自転車走行空間が密なネットワーク状に整備されている。

■アムステルダムの自転車走行空間マップ



○目標

- 2010年までに以下の様な目標を実施
- ①少なくとも37%が自転車を利用(2008年実績 35%)
 - ②満足度調査で7.5ポイントとする(2008年実績7.24ポイント)
 - ③自転車の盗難を2007年比40%減少

[出典：アムステルダム市ホームページ]



両方向通行の自転車専用道の例



片方向通行の自転車専用道の例

[出典：アムステルダム市ホームページ]

アムステルダム
 ・人口：76万人
 ・面積：219km²
 ・自転車走行空間整備延長(2009)：617km

出典：アムステルダム市ホームページより集計

出典：「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」（国土交通省、警察庁）

②デンマーク コペンハーゲン

- ・コペンハーゲン市では戦後、都市のコンパクト化が推進されるなか交通システムが見直され（自動車排除）、1990年までに「歩行者>自転車>公共交通>自動車」という道路上での優先順位が理念として確立されている。
- ・交通計画 2002-2005 に自転車政策が位置付けられると共に、市の各種計画に自転車が組み込まれ、重要な役割・位置づけが与えられている。



市内でも自転車通行量の多い路線（車線数を削減して自転車走行空間に転用）

交差点マーキングと進行方向別自転車停止線

- ・1996年から2年毎に自転車関連の統計書として、「自転車白書」を市が発行しており、主要な統計の数値と自転車利用者の評価（満足度）がまとめられている。
- ・各号毎に多くの最新の課題が検討されており、施策の優先順位を市民にPRするのに有効なものとなっている。

- ・自転車都市としての評価
- ・安心感
- ・自転車道の整備延長
- ・自転車道の幅員
- ・自転車道の管理状態
- ・一般道の管理状態
- ・自転車駐車場
- ・公共交通との連携の可能性



自転車利用者の満足度

■自転車走行空間等の整備概要

・デンマークの首都コペンハーゲンでは自転車走行空間が密なネットワーク状に整備されている。

■コペンハーゲンの自転車ネットワーク図

Bruttoliste "Cykelstiprioriteringsplan 2006-2016"

コペンハーゲン市
 ・人口: 52万人 ・面積: 88.3km²
 ・自転車走行空間計画: 約400km
 ・整備延長(2010): 360km

【出典: コペンハーゲン市ホームページ】

○目標

2015年までに以下の様な目標を実施

- ① 市内に住む人の少なくとも50%が、通勤、通学に自転車を利用するようにする。
- ② 自転車事故の発生件数を2007年比の半分以下にする。
- ③ 少なくとも80%の自転車利用者が、自転車が安全、安心な乗り物であると感ずるようにする。

【出典: OUR VISION FOR COPENHAGEN 2015】

○特徴的な取組み内容

○自転車旅行速度の向上

6時半より12時まで、市内中心部の2.2kmの区間について、速度20kmで走行すれば赤信号で停止せず走行出来るように信号サイクルを設定。その結果平均速度が15.12km⇒20.72kmに上昇。

【出典: 東京都議会欧州視察結果(東京都議会ホームページ)】

自転車レーンの例

自転車道の例

【出典: コペンハーゲン市ホームページ】

出典:「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」(国土交通省、警察庁)

③フランス パリ

- ・「パリ市都市交通中長期計画（2007.2）」では、自動車の交通量を減らし、それ以外の環境にやさしい交通手段を増やすことを目標としている。
- ・このパリ市都市交通中長期計画には、「自転車利用の促進」が位置づけられており、別途「パリ市自転車交通基本計画」を策定している。そこでは、2010年までに自転車道を500kmまで延長（2009年時点では450km）することを目標としており、また、自転車道や駐輪場等の利用環境の整備とともに、ベリブの導入などの方策が盛り込まれている。

■コミュニティサイクルの概要



コミュニティサイクル（ベリブ）



コミュニティサイクルのステーション（ポート）分布図

* 市中心の一部を拡大
出典：ベリブHP

■自転車走行空間等の整備概要



出典：「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」（国土交通省、警察庁）

自転車先進都市おかやま実行戦略

平成24年8月
岡山市都市整備局街路交通課
TEL : 086-803-1376
FAX : 086-234-0435